

2008年3月期 決算説明

2008年5月13日

 古河スカイ株式会社

＜本日の内容＞

1. 2008年3月期(2007年度)決算概要
2. 2009年3月期(2008年度)業績見通し
3. トピックス

1. 2008年3月期(2007年度) 決算概要

2007年度 決算のポイント

■ 対前年 増収減益

- アルミ地金価格高値継続により売上金額は増
- 燃料・副原料価格の高騰が収益を圧迫(約12億円)
- 税制改正による償却費負担増(約18億円)

■ 売上数量

- IT関連、箔用、一般汎用材数量減
- LNG船タンク向け、印刷用材料、自動車関連材等
優位製品は好調持続。缶材も前年比プラス

2007年度業績(対前年度)

<連結>

(単位:億円)

	06年度 (A)	07年度 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高	2,396	2,530	134	105.6
営業利益	165	137	▲28	83.4
経常利益	151	119	▲32	78.7
当期純利益	87	64	▲23	73.6

<単体>(ご参考)

(単位:億円)

	06年度 (A)	07年度 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高 (数量)	2,139 444(千トン)	2,262 442(千トン)	123 ▲2(千トン)	105.7 (99.5)
営業利益	145	117	▲28	80.8
経常利益	133	103	▲30	77.8
当期純利益	72	51	▲21	71.2

連結売上高・営業利益推移

営業利益
(億円)

200

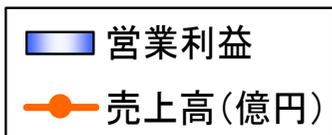
160

120

80

40

0



05

06

07

144

165

137

2,094

2,396

2,530

18

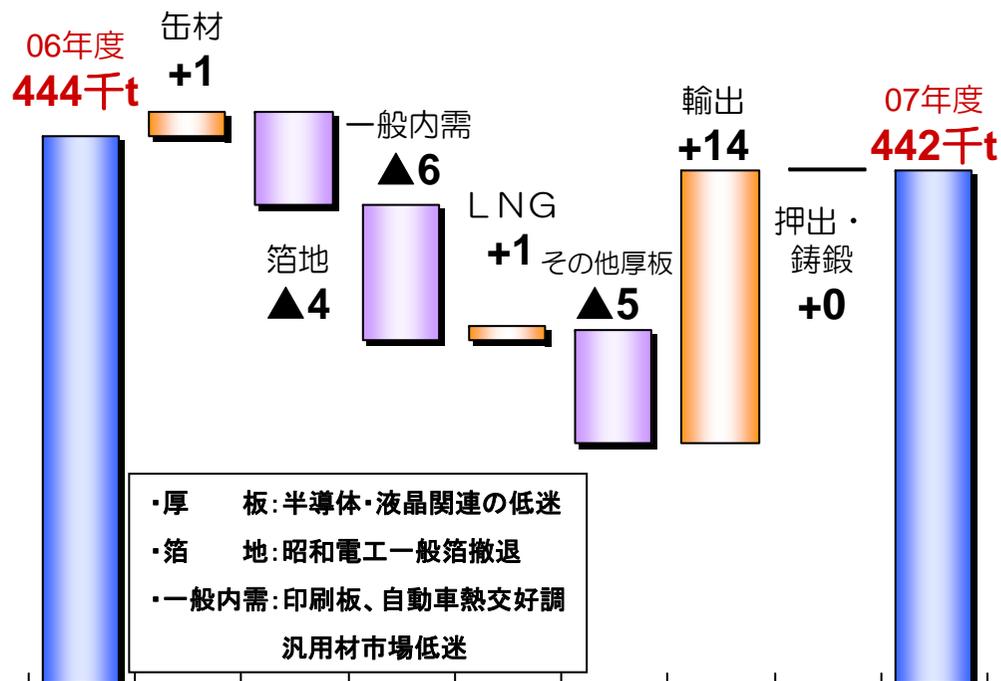
H19税制改正による
減価償却費増

2007年度 品種別売上数量比較(対前年度)

(単位:千トン)

品 種		06年度	07年度	前年同期比
板	缶 材	121	122	100.8
	箔 地	43	39	90.7
	一 般 内 需	135	129	95.6
類	厚 板			
	LNG	17	18	105.9
	その他	35	30	85.7
	輸 出	45	59	131.1
	計	397	396	99.7
	押 出 計	45	45	100
	鋳 鍛 計	2	2	100
	総 合 計	444	442	99.5

07年度売上数量増減内訳 (対前年度▲2千t)



注)07年度より、国内ユーザーの海外工場製造分は「輸出」に分類。本資料06年度分数量も補正。

連結営業利益分析 (06年度→07年度)

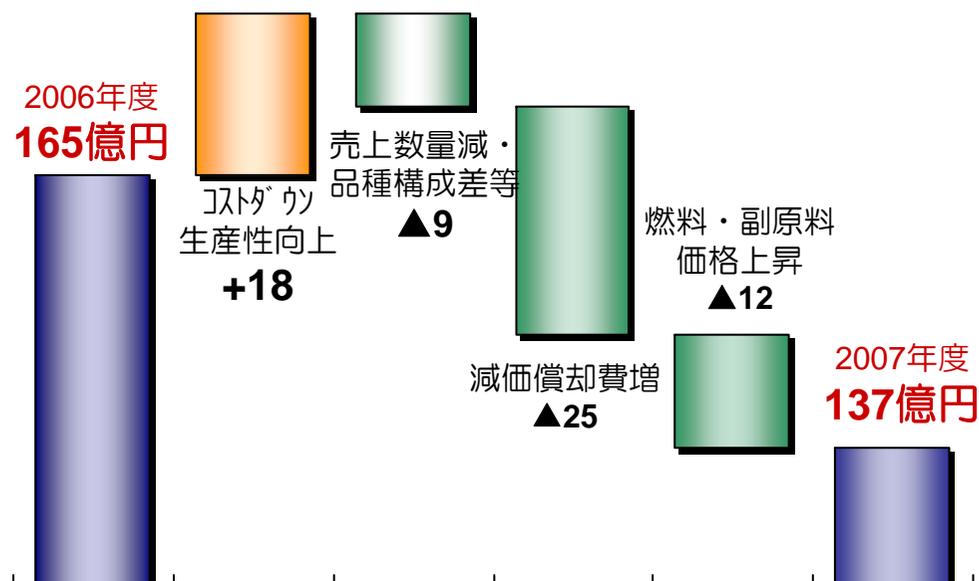
主な増益要因

・コストダウン・生産性向上 18億円

主な減益要因

- ・売上数量減・品種構成差等 9億円
- ・減価償却費増 25億円 (税制改正による増 18億円含む)
- ・燃料・副原料価格上昇 12億円

06年度実績→07年度実績連結営業利益増減内訳 (対前年▲28億円)



貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	07/3末	08/3末	増減		07/3末	08/3末	増減
流動資産	1,182	1,074	▲108	流動負債	1,126	1,068	▲58
現金・預金	62	46	▲16	支払手形・買掛金・ 未払金・未払費用	712	629	▲83
受取手形・ 売掛金	655	573	▲82	短期借入金・一年以内 返済長期借入金・社債	371	414	43
棚卸資産・ 前渡金	352	339	▲13	未払税金・その他	43	25	▲18
その他	113	116	3	固定負債	598	499	▲99
				長期借入金・社債	427	328	▲99
固定資産	1,274	1,270	▲4	その他	171	171	0
有形・無形固定資産	1,160	1,164	4	少数株主持分	26	28	2
投資その他の資産	114	106	▲8	資本合計	706	749	43
資産合計	2,456	2,344	▲112	負債・資本合計	2,456	2,344	▲112

連結主要経営指標

	06年度	07年度
売上高営業利益率	6.9%	5.4%
自己資本比率	28.7%	32.0%
R O E	13.0%	8.8%
D / E レシオ	1.141倍	0.997倍

(ご参考)

自己資本比率＝〔純資産(期末)－少数株主持分〕／総資産(期末)

2. 2009年3月期(2008年度) 業績見通し

2008年度 業績見通しのポイント

■ 対前年 増収減益

- ・ 燃料・副原料価格の高騰が引続き収益を圧迫(約47億円)
- ・ 税制改正による更なる償却費負担増(約36億円)
- ・ IT関連・一般汎用材需要が回復

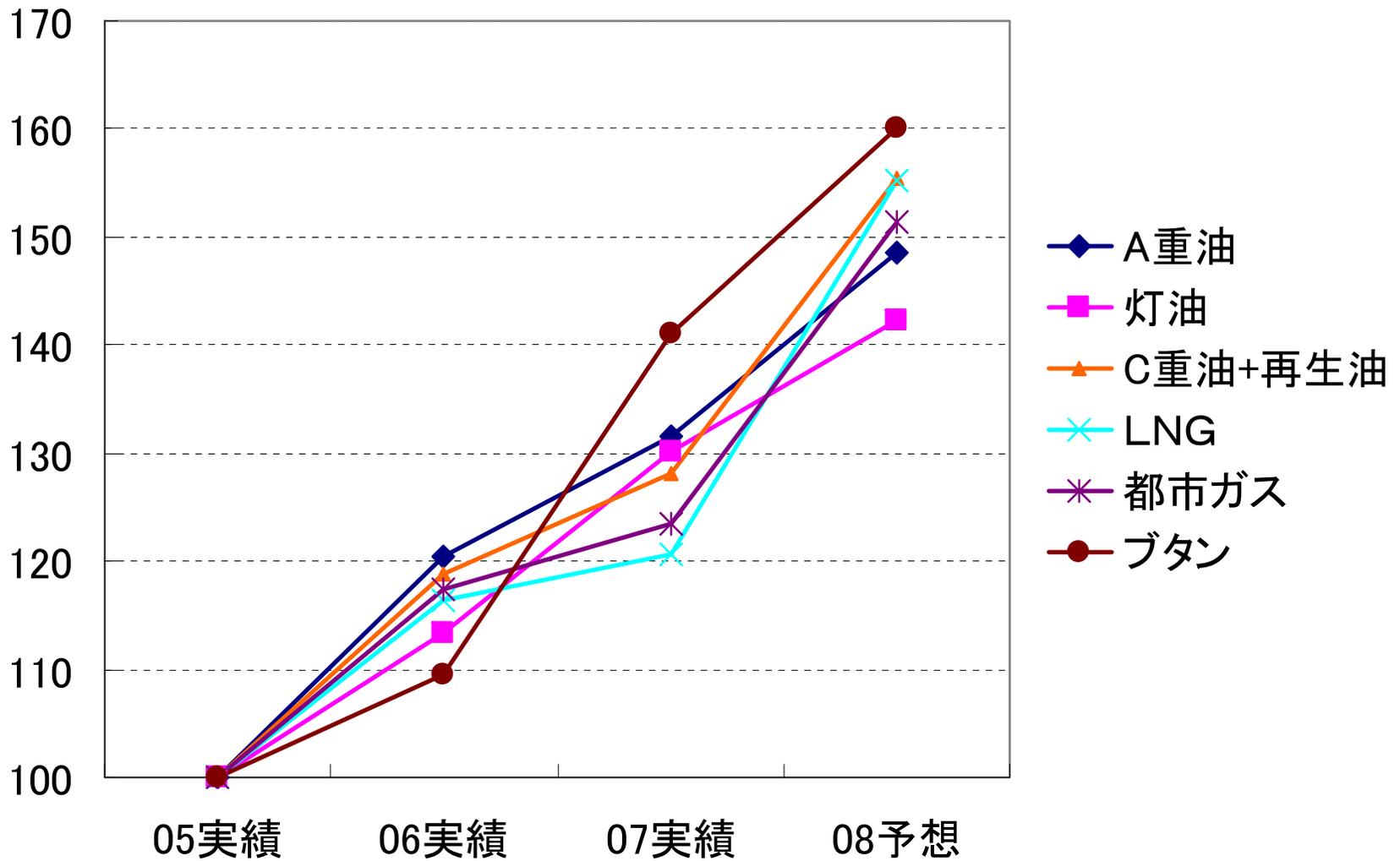
■ 売上数量

- ・ 国内ユーザーの海外工場向け中心に、缶材、印刷用材、自動車関連等輸出を戦略的に拡大
- ・ 太陽光発電パネル製造装置向け受注好調
- ・ 自動車ターボチャージャー用コンプレッサホイール フル生産

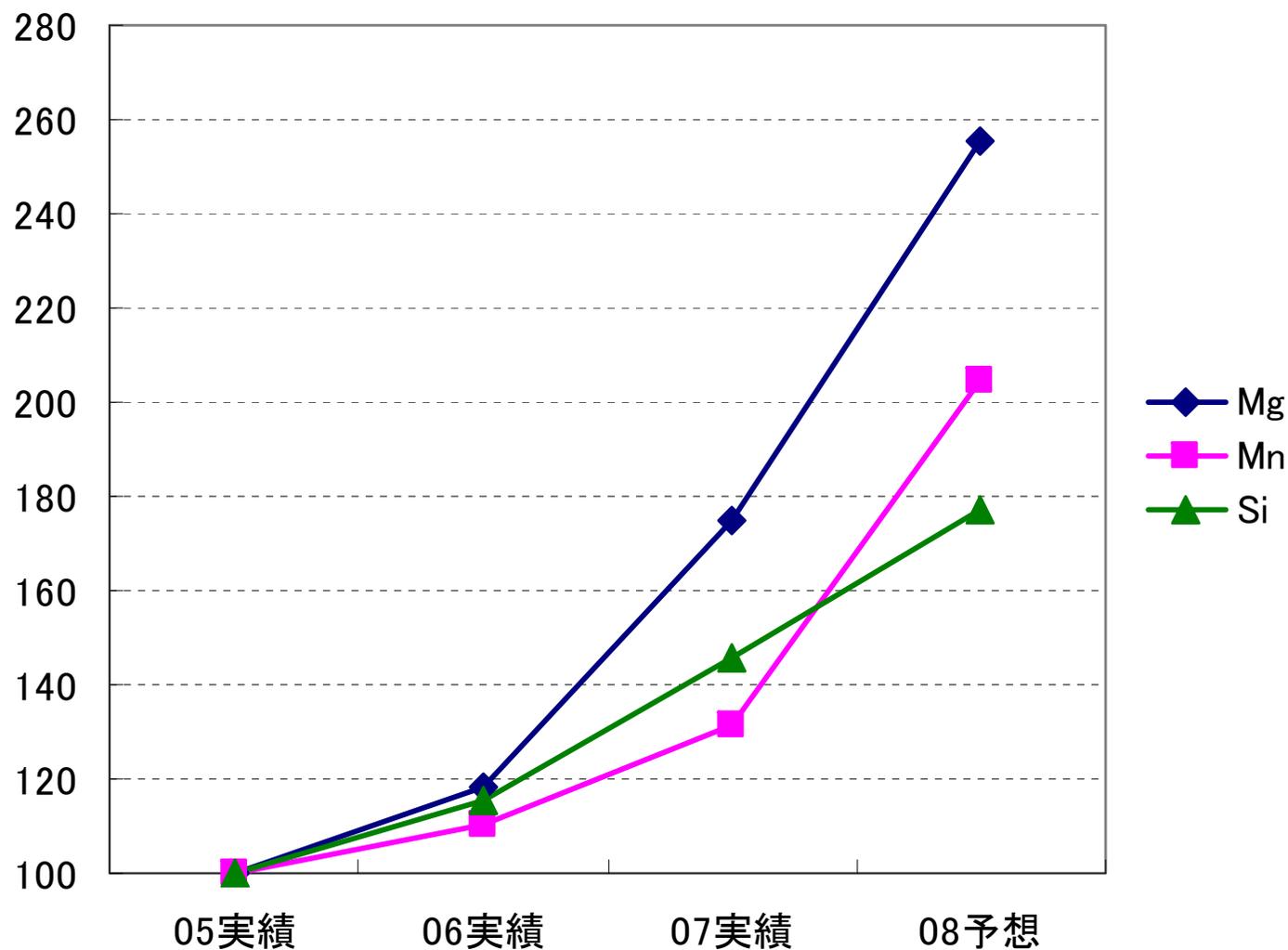
■ 主要前提条件

- ・ 原油価格(WTI) 115 (USD/バレル)
- ・ 為替レート 100 (円/USD)

燃料購入単価推移 (指数; 2005実績=100)



主な副原料単価推移 (指数; 2005実績=100)



2008年度業績見通し

<連結>

(単位:億円)

	07年度 (A)	08年度予想 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高	2,530	2,655	125	104.9
営業利益	137	107	▲30	77.9
経常利益	119	88	▲31	74.2
当期純利益	64	45	▲19	70.3

<単体>(ご参考)

(単位:億円)

	07年度 (A)	08年度予想 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高 (数量)	2,262 442(千トン)	2,377 483(千トン)	115 41(千トン)	105.1 (109.3)
営業利益	117	74	▲43	63.2
経常利益	103	60	▲43	58.1
当期純利益	51	32	▲19	62.5

連結売上高・営業利益推移

営業利益
(億円)

200

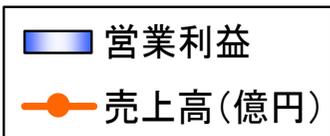
160

120

80

40

0



05

06

07

08予想

144

165

137

107

2,094

2,396

2,530

2,655

18

36

17

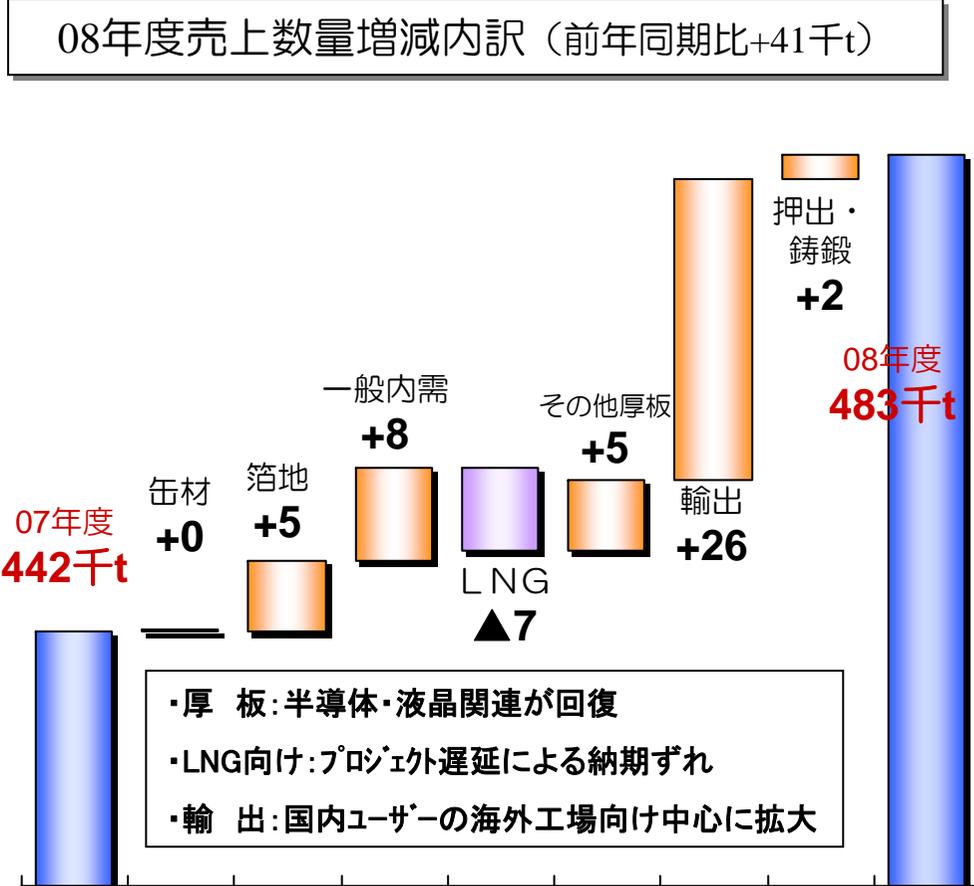
H19税制改正による
減価償却費増

H20機械装置の耐用年数改定
による減価償却費増

2008年度 品種別売上数量見通し

(単位:千トン)

品 種		07年度	08年度	前年同期比
板 類	缶 材	122	122	100
	箔 地	39	44	112.8
	一 般 内 需	129	137	106.2
	厚 板			
	輸 出			
	LNG	18	11	61.1
	その他	30	35	116.7
	輸 出	59	85	144.1
	計	396	434	109.6
	押 出 計	45	46	102.2
	鑄 鍛 計	2	3	150
	総 合 計	442	483	109.3



連結営業利益分析 (07年度→08年度予想)

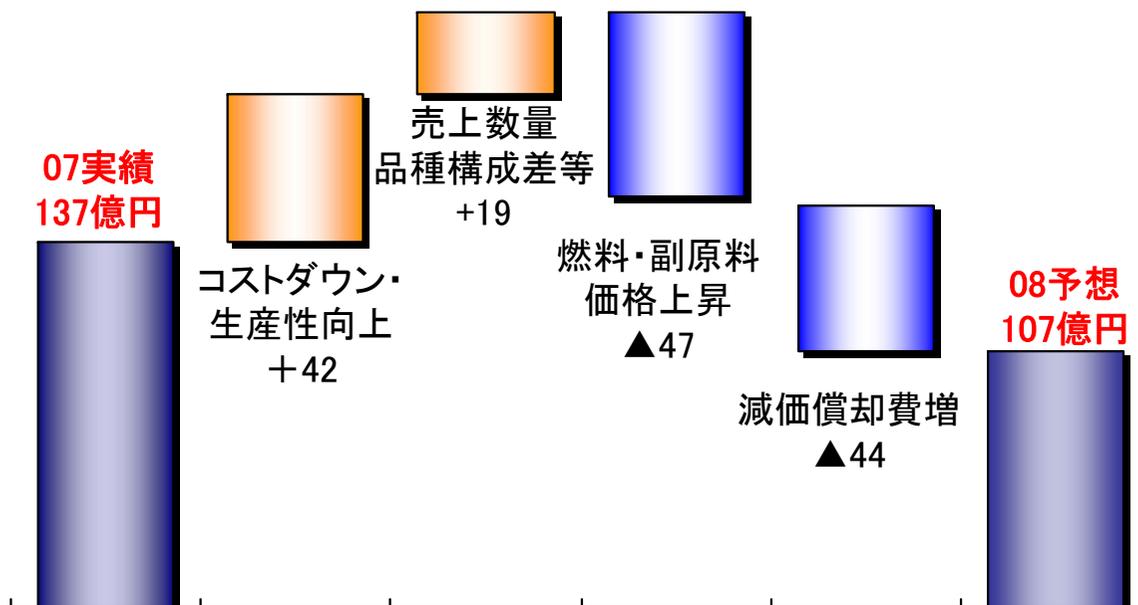
主な増益要因

- ・コストダウン・生産性向上 42億円
- ・売上数量減・品種構成差等 19億円

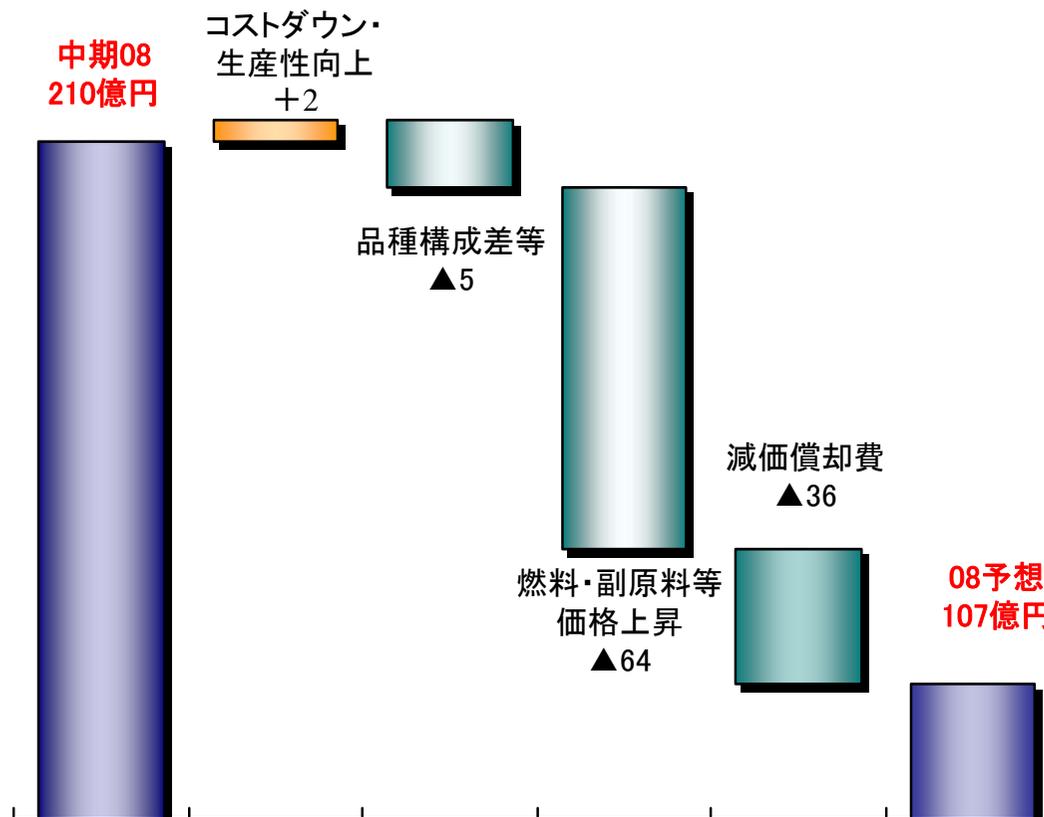
主な減益要因

- ・燃料・副原料価格上昇 47億円
- ・減価償却費増 44億円 (H20税制改正による増 36億含む)

2007年度実績→2008年度予想連結営業利益増減内訳 (対前年▲30億円)



中期08対比連結営業利益増減



3. トピックス

＜海外会社 資本参加＞

■ 2008年2月 マグネシウム製造会社

「太原金威マグネ業有限公司」を中国山西省太原市に
合併で設立

中国産マグネ地金の安定した調達体制の確立



<増産体制>

■鍛造製品

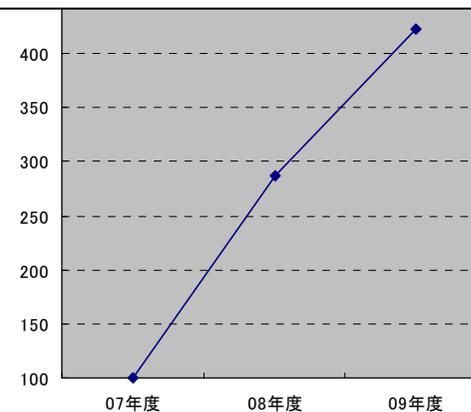
- ・太陽光パネル製造装置用大型基板
受注急伸

マシニングセンター等設備を増設し、
増産体制を確立

■鋳物製品

- ・自動車ターボチャージャー用コンプレッサー
ホイール生産 世界第一位へ

太陽光パネル製造装置基板受注高
(指数;07年度=100)

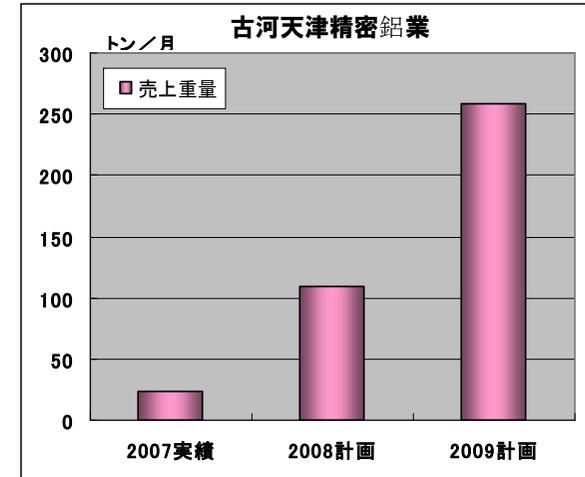


＜海外拠点の状況＞

■ 中国＜押出＞

Furukawa-Sky Aluminum (Tianjin) Corp.

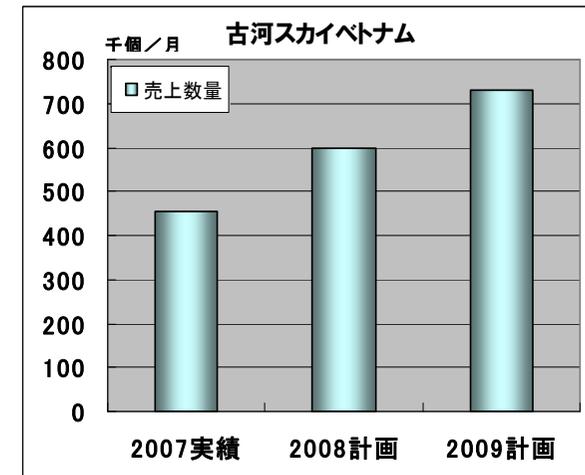
日系主力ユーザー向けの量産納入が本格化
欧米系・中国メーカーからの受注も活発化し、
本格操業へ



■ ベトナム＜鋳物＞

Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.

07年度は出荷量が50万個／月体制へ
設備集約を完了し供給能力は70万個／月体制
欧州地区向けを中心に需要が旺盛
更に供給能力を増強予定



<グローバル事業戦略>

成長市場へのアプローチ

有力顧客の海外展開への対応

世界に通用する
コスト競争力実現

新製品開発力強化

① 国内供給拠点の強化

- ・品種集約の推進による最大効率化
- ・輸出供給力の強化
- ・押出、鋳鍛の海外拠点増強

② 海外サプライヤーとの戦略的提携等

自動車用熱交材(含むキャスト材)、印刷板、缶材

輸出・海外拠点对応に関する戦略・方針

- ①日系の有力顧客の海外展開への対応を核とすること
- ②ターゲットとする地域は、中国、東南アジア、欧州、中近東等
- ③ターゲットとする製品は、缶材、印刷板、熱交材の3品種中心
- ④海外製造拠点は、ギリシャ/エルバル社との協業を主体に展開



■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3668 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)